

授業科目	地域理学療法学				
担当者	田中仁（実務経験者）				
実務経験者の概要	理学療法士として地域理学療法を実践している。また訪問看護ステーション（訪問リハビリ）や通所リハビリ、訪問リハビリを併設する診療所を経営している。				
学科名	理学療法学専攻	学 年	3年	総単位数	1単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

■ 内 容

地域リハビリテーションに関わる理学療法を、患者（利用者）を取り巻く生活圏に視点をおいて考える。その中の制度、システムを学び、地域、在宅領域における理学療法士の役割を学ぶ。

■ 到達目標

地域理学療法における医療保険、介護保険の現行制度を理解する。
 在宅を中心とした理学療法の専門性を理解する。
 地域理学療法の実践を知る。
 地域リハビリテーションにおける理学療法士の今後の展開を推察する。

■ 授業計画

- 第1回 地域リハビリテーションと地域理学療法について
- 第2回 医療保険制度と介護保険制度について
- 第3回 日本の社会保障について
- 第4回 地域包括ケアシステムについて
- 第5回 地域理学療法と介護保険制度について
- 第6回 地域理学療法と介護保険制度におけるリハビリテーションについて
- 第7回 地域理学療法と福祉用具と住宅改修について
- 第8回 地域リハビリテーションと地域理学療法における今後の展開

■ 評価方法

科目試験（筆記試験）：100%

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

毎回、資料を配布する。
 その内容を、講義中に質疑する。

■ 教科書

書 名：標準理学療法学 地域理学療法学 第4版
 著者名：牧田光代、金谷さとみ
 出版社：医学書院

■ 参考図書

■ 留意事項

■ 講義受講にあたって